

わずか1時間余のお寒い審議



都庁前で200人が抗議

ある。市村部長は昨年の恋愛以外のつきまとい相談件数は「17件」と答えたものの、大山都議に「悪意が認められる」「重大事件に発展した」件数を聞かれると、「統計がない」と言つてのけ

視庁の市村諭生活安全部長が「乱用防止の項目」がある」「正当な理由があれば対象外」と答弁すると、アッサリ納得。都民ファーストの会（都F）の石毛しげる都議に至つては、「改正の必要性」を質問しただけで持ち時間を1分残して終了。周りの都議から「早いな」とからかわれる始末だ。

抜き打ちに都民の怒りが噴出 この日夕方の都庁前 池都政の**抜き打ち**に 反対集会には約200人 慢る。SNSでも一気に が参加。「1時間の審議 懸念の声が拡散している で通うなんて」「2日 が、演説した元日弁連は 前に条例のことを初めて 長の宇都宮健児弁護士は 知った」「こっそりが許 一直都前デモ参加者は 都条例の件は知らない人

民の怒りが噴出

池都政の“抜き打ち”に憤る。SNSでも一気に懸念の声が拡散しているが、演説した元日弁連会長の宇都宮健児弁護士は、都条例の件は知らない人だ。

石野都議は「改正は必要」と発言した。本紙の取材に増子博樹幹事長は「現時点では賛否は決めていない」とお茶を濁したコメントだ。

都Fの小池礼賛一辺倒で良識なき賛成により、デモ封じ条例が成立したら、「都民ファシストの会」と党名を変えるべきだ。

も多い。早く伝えて連携した方がいい」と強調。とにかく残された時間は少ないのだ。

小池都知事が忍び足で「スピード成立を目指す『デモ封じ条例』」。都迷惑防止条例を改め、つきまといや名誉毀損の要件を大幅緩和し、捜査当局の腹ひとつで、デモや取材活動をも取り締まりかない。

そんな危険な重要条例を、たった1回の審議で强行採決の意向だが、その審議がきのう（19日）、都議会の「警察・消防委員会」で行われた。

条例案に賛成とみられる自民・吉原修、公明・橋正剛両都議は、「市民運動の取り締まりにつながらないか」とアリバイ的に懸念を示したが、警

お寒いもの。
条例案に賛成とみられる自民・吉原修、公明・橋正剛両都議は、「市民運動の取り締まりにつながらないか」とアリバイ的に懸念を示したが、警
例え、条例案のつきまとには、ストーカー規制の恋愛感情が伴う」という制限はなく、「ねたみや恨みなど悪意」で警
アウト。「安倍ヤメ口」